

非常時備蓄品として備えておくと良いもの



○食料

缶詰やレトルト食品、インスタントラーメンなど、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。

○水(飲料用として1人1日3リットル)

飲料水以外に炊事、洗濯、トイレなどに使う生活用水の確保のため、風呂の水は抜かず、また、寝る前にポットややかんに水をいれておく。

※水道水を煮沸しないで、冷蔵庫に保管すると1週間は飲料水として使用できます

○被災地で重宝した品目

□カセットコンロ □懐中電灯 □野菜ジュース
□簡易トイレ □充電式ラジオ など

○燃料

カセットコンロなどのガスボンベは多めに用意を。アウトドア用の携帯コンロも便利。

○その他

□常備薬(市販薬) □ランタン □洗面鏡
□給水用ポリタンク □紙皿、紙コップ、割り箸
□水のいらないシャンプー □生理用品
□新聞紙 □大型ビニール袋、ビニールシート
□長靴 □キッチン用ラップフィルム
□乾電池 □携帯電話の予備バッテリー など

避難直前に非常時持出品を準備するには、絶対に避け、避難を優先してください。
【問い合わせ】総務課安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84)5540

【問い合わせ】総務課安全防災担当室 防災防犯係 ☎(84)5540



松田町でも平成17年度には28人の利用者であつた学童保育も、今年4月には、76人(松田町64人、寄り12人)と増加していまして、このニーズに応えるために、県等の補助金を利用していく、夏休み前に松田学童保育室の整備を行い、対象児童も今までの4年生までから6年生まで拡大し、全学年の小学生としました。

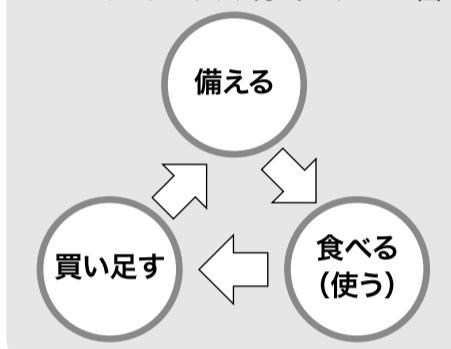
【問い合わせ】子育て支援係 ☎(84)5544

ローリングストック方式

1週間分もの食料などを備蓄するのは大変です。消費期限が来るたびに大量購入と破棄の繰り返しとなります。

食料として普段食べているレトルト食品、インスタント食品や飲料水、カセットコンロのボンベなどを初めに少し多めに購入し、定期的に消費して、使った分(消費した後でも、食料は世帯人数×3日分の在庫を確保します)を買い足していくローリングストック方式ですと無駄がなくなります。

※ローリングストック方式のイメージ図



今月号では、非常時備蓄品についてお知らせします。

避難した後で少し余裕が出てから安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり、または自宅で、避難生活を送つたりする上が必要なものです。救援物資が届くまでの数日間(最低でも3日間、可能な限り1週間程度)、

お知らせします。

自足できる分量を備えましょう。

また、各家庭で備蓄の状況などを定期的に確認することが大事です。この

ため、家族で備蓄の確認を半年に1回は、行いましょう(3月11日と9月1日のように、大きな震災があつた日を日安にすると、忘れにくくなります)。

町の子育て支援 ～学童保育～

放課後児童健全育成事業、いわゆる学童保育につきましては、松田地区では松田小学校で、寄地区では寄小学校で、それぞれ校舎の一部をお借りして実施しています。

この学童保育というものは、ひとり親や共働き世帯などで、昼間家庭で児童の保育をすることが出来ない方のために、学童保育室で児童をお預かりし、保護者に安心して仕事をしてもらうための、子育て支援事業です。昔は、おじいちゃん・おばあちゃんと同居し、お父さんが会社に勤め、お母さんが家事をしながら子育てをする世帯が多くなったのですが、時代の流れとともに、核家族化や、女性の社会参画が進み共働きが増えています。

未病いやしの里の駅を巡るスタンプラリー開催! 9月25日(金)~10月12日(月・祝)まで

県西地域にある未病いやしの里の駅を巡るスタンプラリーを開催します。対象の里の駅に行くと、スタンプがもらえます。スタンプ3個につき、1回、10月12日(祝)に西武小田原店(小田原市中里208)キャニオン広場で行われる「未病いやしの里の駅を巡るスタンプラリー～ガラポン抽選会～」に参加できます。抽選会の他にも、未病サミット協賛企業によるブース出展や、未病チェックなど、未病がわかるイベントがたくさんありますので、ぜひ、ご来場ください。

【問い合わせ】県西地域県政総合センター 企画調整部 企画調整課 ☎(32)8000

松田町にある
未病いやしの里の駅

「森の駅」
・最明寺史跡公園
・西平畠公園
・寄自然休養村管理センター

「運動の駅」
・川音川親水公園パークゴルフ場
・松田町寄みやま運動広場

「食の駅」
・まちの駅あしがら
・松田山ハーブガーデン

【問い合わせ】子育て健康課 ☎(84)5544

松田学童保育室の整備を行い、対象児童も今までの4年生までから6年生までまで拡大し、全学年の小学生としました。

町民皆様のご理解・ご賛同のもと、人でも出来る“おもてなし”に取組んで頂けるよう、宜しくお願い致します!

先月22日は、国内外から多くのお客様が来町され、まだ観光まつり・しがら花火大会が、大いに賑わいのもと開催されました。祭りには、約5万人と多くの方にご来場いただけました。ひとえに祭り関係者並びに町民の皆様方の“おもてなし”的精神が少しずつ発信できている証拠だと思います。本年は、各種交流人口増加策を進め、定住人口を増やす事を目的として、私の意気込みとして“協働と挑戦”を掲げ、事業展開を進めてきました。

町民の皆様・各種団体の皆様にもご理解・ご協力を賜り、松田町のイメージアップが図られ、知名度もアップし、交流人口も例年以上に増加しています。

残暑厳しい中ではございますが、お元気でお過ごしの事とお察し申し上げます。

『オール松田』

“おもてなし”宣言

松田町長 本山 博幸

風
うかぜう